

議題1

これまでの状況報告



令和5年度

第2回懇談会
6月6日第3回懇談会
9月1日第4回懇談会
2月5日

令和6年度

夏頃
までにコンセプト(案)に
ついて「都心風景の
未来を先導」
するデザインデザインの
方向性についてデザインの
具体化

テラス型の社会実験

デザインの市民参画

トータルデザインの
全体案について懇談会の意見や
市民アイデアを
反映しデザイン
を精緻化デザイン
決定

～ 都心風景の未来を先導する ～



『まちの魅力の増幅』

1 都心風景の魅力を引き立てる

- 車体に映し込まれる風景や光の「移ろい」によって、風景を引き立てるとともにまちなみと調和するデザインとする。
- 夜景にも新たな魅力をつくるため、路面を照らすあかり等の演出照明の検討を行う。

2 まちとの親密感をつくる

- まちなかを歩いている、車内の様子を感じとれる、まちとの親密感があるデザインとする。

3 まちや車体の特性を活かす

- 連節バスの特徴である車体の長さを活かしたデザインとする。
- 名古屋らしい精度高いものづくり文化を感じさせる質感や造形性を備えたデザインとする。



※パースはイメージです。今後の検討によりデザインは変更することがあります。



- 今回の提案はS R Tのコンセプトと合致している
- 飽きが来ず、先進的なデザインというのが感じられて良い



『まちの魅力を再発見』

1 まちとの親密感をつくる

- ・ 車内でもまちをより身近に感じられるように、歩道側に面したカウンター席や車窓に囲まれたベンチ席などの座席レイアウトを検討する。
- ・ 流れる車窓や奥行き感を強調した空間により、まちなかを移動する感覚をつくる。

2 まちや車体の特性を活かす

- ・ 細部まで精度高く仕上げることで、洗練された都市にふさわしい品質高い空間をつくる。
- ・ 質感高い素材感により、沿線が持つ爽やかな空気感や名古屋らしい洗練感を感じさせる。



※パースはイメージです。
今後の検討によりデザインは変更
することがあります。

- 
- まちの中を移動する舞台のような、エンターテインメント性を導入できるインテリアが良い
 - SNSで情報発信され世界中に情報が出ていく時代なので、是非突出したデザインであって欲しいが、様々な規制の順守と安全性とを両立した、尖ったデザインに



1 まちの賑わいにつながる空間づくり

- まちなかの拠点として、官民連携し、地域とのつながりに寄与する空間づくりを目指す。（Nagoまちスペースと一体的な空間活用、モビリティハブ機能や歩行者の休憩場所、イベントスペース等）
- 歩行者を中心とした通りを目指し、沿道空間から歩道・車道を一体的に利用可能な空間を検討する。
- 車両と連携し、イベント時などの演出に対応できるしかけの導入を検討する。（デジサイ、バナーフラッグなど）

2 居心地が良く、人にやさしい空間づくり

- リビングのように居心地の良い空間を目指す。
（木質系材料の活用、夜間照明の活用など）
- 既存街路樹を生かした施設配置を行う。

3 新たな公共交通としての明示性

- SRTルートを示すため、舗装グラフィック等によるアイデンティティの表現を検討する。



※パースはイメージです。今後の検討によりデザインは変更することがあります。



- 車両とのデザインのバランスは良いが、まちの回遊性への寄与があまり読み取れない
- デザインだけでなく、猛暑が凌げるなどの居心地の良さが大事
- テレワーク等、現在のニーズとしてスタンディングのカウンターがあるとよい
- 既存のケヤキ並木を活かしたり、ケヤキ並木と一体感の感じられる構造
- バス待ちの人と休憩の人、どちらも気持ちよく使えるように



＜デザインの市民参画＞

SRT塗り絵

あなたの考える都心風景の未来を先導するデザインとは？

名古屋市中区 トータルデザイン検討

ぬいえ たいげしや 大募集!

れんせつ
連節
バス

WHAT COLOR?

どなたでも
ご参加
できます

あなたの考える
都心風景の未来を先導する
デザインとは？

★募集期限★
2023
11/30(木)

名古屋市中区計画

都心部の回遊性の向上と賑わいの拡大を目的とした新たな路面公共交通システム“SRT”について、今後のデザイン検討の参考とするため、皆さまから連節バスのデザインのアイデアを募集します！

～SRTのコンセプト～

都心風景の未来を先導 ▶▶▶

検討中のSRTイメージ

屋根・待合空間

[illegible]

< 目的 >

SRT運行開始までの機運醸成を図るとともに今後のデザイン検討の参考とするため、塗り絵によるアイデア募集を実施

< 実施期間 >

令和5年10月21日(土)～11月30日(木)

< 実施方法 >

○スマートフォン等による応募

⇒ SNS、デジタル案内板との連携

○郵送による応募

⇒ 区役所、図書館、生涯学習センター
などにチラシ配架

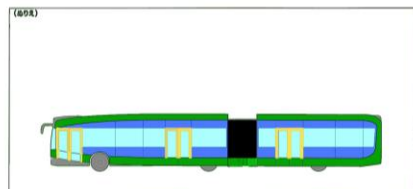
○地域イベントとの連携

⇒ 第4回名古屋ハロウィンラリーに
塗り絵ブースを出展(10/21、22)

○都市センターに塗り絵コーナーを設置

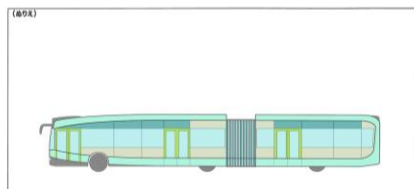


SRT塗り絵の概要②



(原案) 自然のよさを、さわやかなイメージで、都心に新しい風をふかせたい！

原案：山崎 孝一 担当：ユートピア



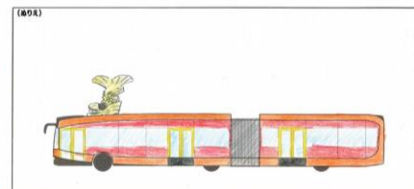
(原案) 自然にほのめかす色合いに！

原案：岡崎 孝一 担当：そうま



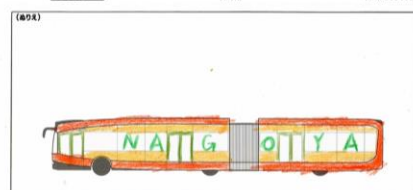
(原案) にび色にしてみんなが楽しくなるようにした。

原案：佐々木 孝一 担当：身代り



(原案) 高級感のある赤い車体と名産のいいイメージを乗せた。

原案：一宮 孝一 担当：たけし



(原案) 力強い赤とさわやかな緑を使って名古屋を表現した。

原案：佐々木 孝一 担当：かや

名古屋市SRT
トータルデザイン検討

連節バスめぐりえ
たくさん届きました！

想いの乗っためぐりえ
ありがとう！

WHAT COLOR? /

Smart Roadway Transit

計 322 枚



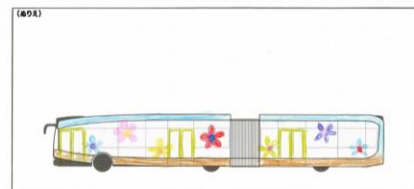
(原案) 自然を大いに引き出すイメージで、電車のハロウィン風です。

原案：四日市 孝一 担当：咲奈



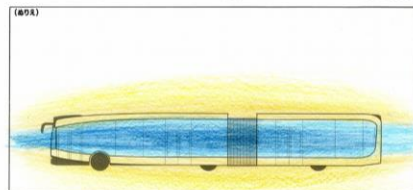
(原案) 明るい色と大きな文字で、おもしろい、かわいい色のバスがほしい。交通手段でバスをたくさん利用してほしい。

原案：船沢 孝一 担当：おの



(原案) 自然を大いに引き出すイメージで、電車のハロウィン風です。

原案：四日市 孝一 担当：咲奈



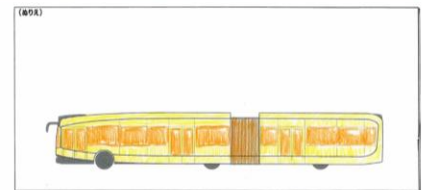
(原案) ひかりのバスがほしい。

原案：船沢 孝一 担当：おの



(原案) 青い空、公園、緑、花など、見かけたら楽しい気分になると思う。連節部分の色も考えて欲しい。

原案：名古屋 孝一 担当：Mio



(原案) 全体的にSRTが黄色い。

原案：名古屋 孝一 担当：Mio



(原案) 自然がいつでもステキなところ、街になって欲しいです。

原案：名古屋 孝一 担当：平木

SRTトータルデザイン懇談会第4回

CFK + GK

2024.2.5

連節バスぬりえ_テーマ別分類まとめ

テーマ：「あなたの考える都心風景の未来を先導するデザインとは？」

約300を超える作品数の中から上記のテーマについて、主にコメントより意図が読み取れる作品を対象として、こういった部分に主眼を置いたコメントであるかによって、テーマ性を分類実際に塗られた色よりも、その色に込められた想いにフォーカスを当て整理

○ これからのまちのイメージ (まちの印象)
: 45件

- 1 自然のあるまち (13件)
 - ・ 緑を増やしたい
(樹木を増やす、車両も自然の一端に)
 - ・ 自然を大切に残す
- 2 明るいまち (12件)
 - ・ 気運としての明るさ
 - ・ 風景としての明るさ
(夜道を明るく、景色を明るく)
- 3 安全なまち (3件)
 - ・ 安心安全で元気に暮らせる
 - ・ 快適で住みやすい
- 4 調和のあるまち (3件)
 - ・ これまでとこれからの街並みの調和
 - ・ 自然や景観との調和
- 5 美しいまち (2件)
 - ・ 風景としての美しさ
(ゴミ問題、都市化)
- 6 愛着のあるまち (2件)
 - ・ 市民に愛される
- 7 これからの公共交通 (2件)
 - ・ 街の大動脈として
 - ・ 街が今まで以上に繋がる
- 8 その他 (8件)
 - ・ 抽象的なみらいの表現
 - ・ かわいい名古屋
 - ・ 今回のようなイベントが続く街

○ 車両単体のイメージ (車両の印象)
: 28件

- 1 名古屋らしさ (17件)
 - ・ 名古屋のシンボル
(シャチホコ、市の花、マーク、スポーツチーム)
 - ・ 名古屋の文化性
(力強い、高級感、みそ)
 - ・ 名古屋の名所を取り入れる
(名古屋城、ノリタケの森)
- 2 まちとの対比 (11件)
 - ・ 街の中で目立つ
 - ・ 街を彩る
 - ・ 街で出会うとラッキーに感じる

○ 乗車体験のイメージ (体験の印象)
: 13件

- 1 たのしい体験 (4件)
 - ・ 乗ると気分がたのしくなる
- 2 誰でも乗りやすい体験 (3件)
 - ・ バス運行会社の乗車券共通化
 - ・ ハンディのある方への配慮や支援
- 3 新交通システムへの期待 (3件)
 - ・ 先進的なデザインであって欲しい
 - ・ 地上の中心となる交通体験
 - ・ 自動運転
 - ・ 水陸両用バス
- 4 連節バスらしさ (3件)
 - ・ たくさん乗れる、運べる

○ 車両単体のイメージ (好きな色)
: 96件

- 1 多色 (70件)
- 2 単色 (26件)

○ コメントなし
: 110件

連節バスぬりえ_テーマ別分類まとめ

○ これからのまちのイメージ (まちの印象)

1 自然のあるまち (13件)

- ・ 緑を増やしたい
(樹木を増やす、車両も自然の一端に)
- ・ 自然を大切に残す

1 自然のあるまち



2 明るいまち (12件)

- ・ 気運としての明るさ
- ・ 風景としての明るさ
(夜道を明るく、景色を明るく)

2 明るいまち



○ 車両単体のイメージ (車両の印象)

1 名古屋らしさ (17件)

- ・ 名古屋のシンボル
(シャチホコ、市の花、マーク、スポーツチーム)
- ・ 名古屋の文化性
(力強い、高級感、みそ)
- ・ 名古屋の名所を取り入れる
(名古屋城、ノリタケの森)

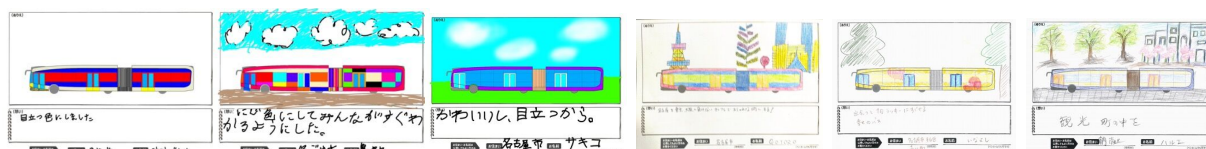
1 名古屋らしさ



2 まちとの対比 (11件)

- ・ 街の中で目立つ
- ・ 街を彩る
- ・ 街で出会うとラッキーに感じる

2 まちとの対比



○ 乗車体験のイメージ (体験の印象)

1 たのしい体験 (4件)

- ・ 乗ると気分がたのしくなる

1 たのしい体験



2 誰でも乗りやすい体験 (3件)

- ・ バス運行会社の乗車券共通化
- ・ ハンディのある方への配慮や支援

2 誰でも乗りやすい体験



トータルデザインのコンセプトと方針の整理

コンセプト

都心風景の未来を先導する

歴史や文化が積み重ねられた都心風景の魅力を増幅し、都心風景の美しい未来の息吹を感じるデザインとする。
また、今後の通りのリノベーションを先導し、まちへの愛着や誇りの醸成につなげていくものとする。

風景

街路樹や新旧が織りなす沿道建築など、多様な都心の魅力を磨き、ひとを惹きつける美しい風景をつくる。

ひと

様々なひとの屋外活動を支えるための空間や設えを再整備し、ひととまちとの美しい関係をつくる。



デザイン方針

VI（ビジュアルアイデンティティ）

- 名古屋のまちの魅力を体感しながら移動自体を楽しむ、既存の公共交通とは異なる新しい路面交通であることを訴求する
- まちの品格や高質さを牽引する、SRT全体のシームレスな体験価値を構築する

車両

- まちなみと調和しながら、まちのシンボルとして「都心風景の魅力を引き立てる」
- 街路樹の緑や通り沿いのアクティビティなど「まちとの親密感をつくる」
- 誰もが乗りやすく快適であるとともに、名古屋の文化性などを取り入れ、「まちや車体の特性を活かす」

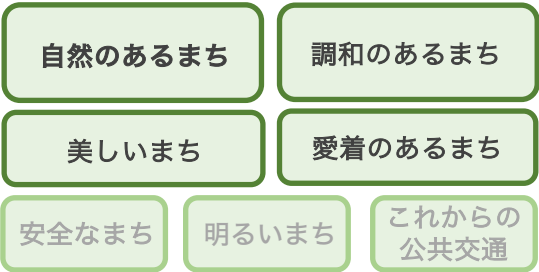
待合空間

- 乗降空間だけではなく、通り沿いのアクティビティの起点として「まちの賑わいにつながる空間づくり」
- 開放感があり、ヒューマンスケールを大切に「居心地が良く、人にやさしい空間づくり」
- 新交通としての展開、拡張を考慮し、「新たな公共交通としての明示性」



ぬりえアンケートからのキーワード

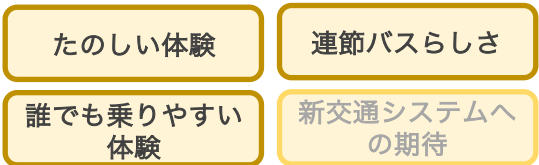
「これからのまちのイメージ」



「車両単体のイメージ」



「乗車体験のイメージ」



デザイン：VI

■VI（ビジュアルアイデンティティ）とは

VI の機能

- | | |
|--|--|
| <ul style="list-style-type: none"> ▶「識別性」= 他との差別化 ▶「展開性」= いろいろな対象への展開性 | <ul style="list-style-type: none"> ▶「意味性」= メッセージや物語 ▶「情緒性」= らしさ（雰囲気） |
|--|--|



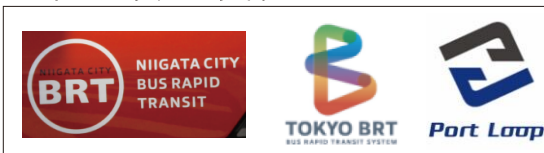
VI を構成するデザイン要素

- ▶ カラーシステム
- ▶ シンボル マーク / ロゴタイプ
- ▶ グラフィックパターン / 素材感
- ▶ 書体

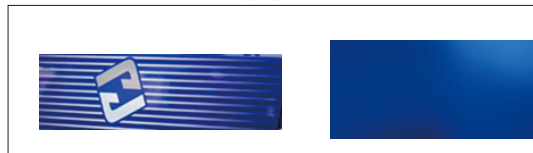
カラーシステム



シンボルマーク / ロゴタイプ



グラフィックパターン / 素材感



書体

あいうえお 加幾久計己 サシスセソ
0123456 ABCDEFG hijklmn



展開対象

- | | |
|---|--|
| <ul style="list-style-type: none"> ・ 車両 ・ 停留所 ・ サイン（誘導 / 時刻表 / 路線図 / 案内表記） | <ul style="list-style-type: none"> ・ ユニフォーム ・ 広報物（ポスター、リーフレット、ノベルティ など） ・ サービスツール（アプリ画面 など） |
|---|--|

デザイン：VI

■SRTにおけるVIの機能の方針

▶「識別性」＝他との差別化

「景観との調和」や「洗練された名古屋の都市景観」を先導していく SRT の姿勢に配慮した、彩度の低いカラーシステムを採用。景観の中での心地良い顕在化を目指す。

(まちとの親和性 / 近接性)
(明示性 / わかりやすさ)

▶「展開性」＝いろいろな対象への展開性

連節バス(シャトル運行)だけでなく、他の乗り物や運行システムの登場に対応可能な展開性のあるグラフィックシステムとする。

(拡張性 / 展開性)

▶「意味性」＝メッセージや物語

SRT(Smart Roadway Transit = 新しい移動を楽しむ地上交通)の言葉の意味や、デザインを目指す「都心風景の未来を先導」など、目指すべき姿をメッセージとして図形化する。

(名古屋らしさ)

▶「情緒性」＝らしさ(雰囲気)

これまでの車両や停留所のデザインで評価されたデザイントーン(景観調和 / 恒久的な洗練感 / ワクワク感)と、未来への先導感。それらのバランスをほどよく保った雰囲気を目指す。

(まちとの親和性 / 近接性)
(名古屋らしさ)

デザイン：VI

■SRTにおけるVIの機能の方針

従来の「識別性」を強調したVI



例：新潟BRT
強いシンボルカラーで
「BRT」を街に顕在化



例：東京BRT
透明感あるやわらかなレ
インボーの帯で未来感を



景観調和型のVI

従来の交通系VIとは異なる、
名古屋らしい都市景観の未来を
先導するVIを志向

- ・名古屋らしい洗練された高質さ
- ・景観を移し込むマテリアル

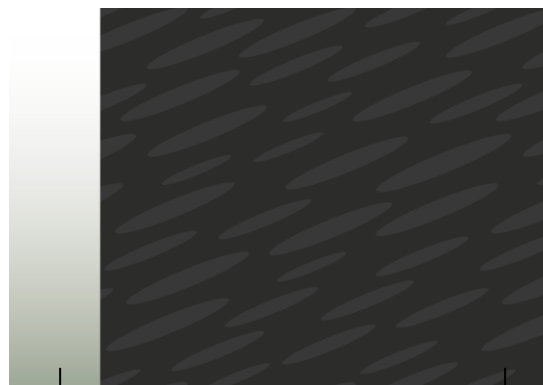


デザイン：VI

※ネーミングは、商標調査を踏まえて確定する

■参考デザイン案

<カラーシステム>



「移ろいメタリック」 (シンボルカラー)

- ・車両のメタリック部と同系色のグラデーション。
- ・名古屋らしい洗練された高質さ、景観の質を低彩度の輝き色として表現。

「移ろいブラック」 (サブカラー)

- ・上品なシンボルカラーを際立たせるため、無彩色かつ暗色系のサブカラーを組み合わせる。
- ・「景観を移し込むマテリアル」として位置づけ、印刷等で表現する場合は、景観の映り込みを意図した抽象パターンを淡く組合せる。

※参考デザイン案は、木漏れ日を抽象化したパターンを展開した例。

<シンボルマーク/ロゴタイプ>

参考A



- ・SRTの文字を道路のつながりとして一筆書き調で表現。
- ・動きのある文字表現で先導感を表す。

参考B



- ・地面への接地感を表す二つの小円と半円。小円は乗り物や人の移動を、半円は街路をあらわす。
- ・ロゴタイプをアンダーでつなぎ、街路、道路感を強調。

デザイン：車両

※デザイン詳細は今後、運行事業者と車両メーカーとともに協議

- まちなみと調和しながら、まちのシンボルとして「都心風景の魅力を引き立てる」
- 街路樹の緑や通り沿いのアクティビティなど「まちとの親密感をつくる」
- 誰もが乗りやすく快適であるとともに、名古屋の文化性などを取り入れ、「まちや車体の特性を活かす」

<車両エクステリア>



<車両インテリア>

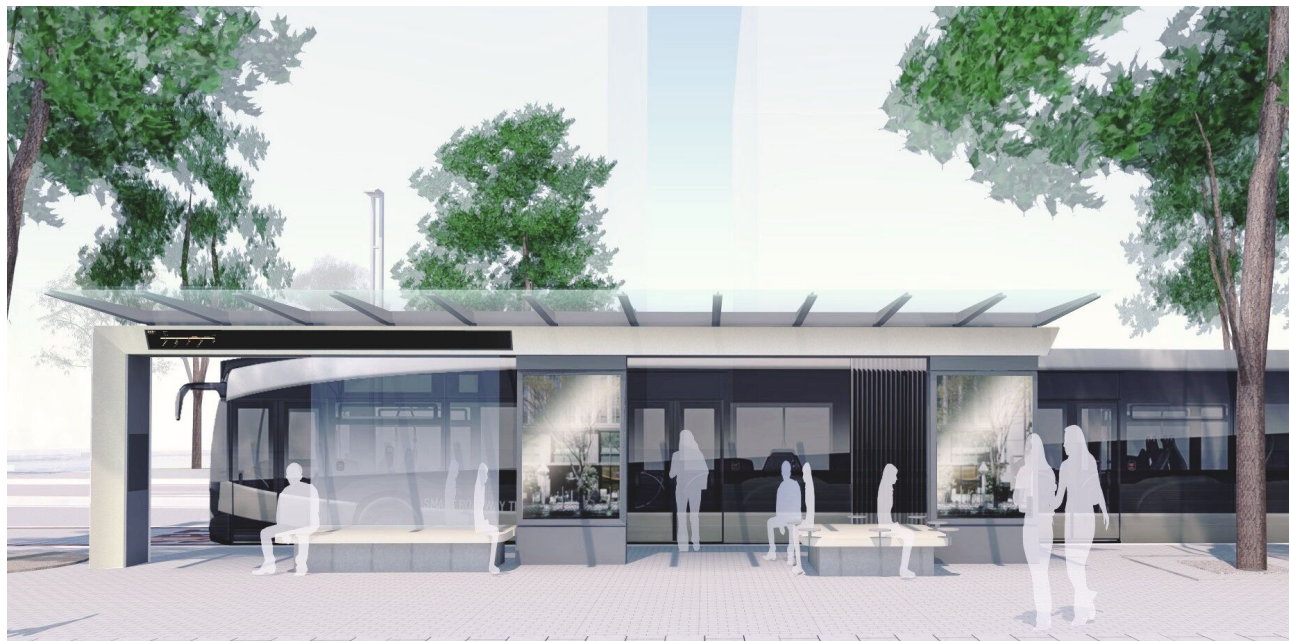


※パースはイメージです。今後の検討によりデザインは変更することがあります。

デザイン：乗降待合空間

- 乗降空間だけではなく、通り沿いのアクティビティの起点として「まちの賑わいにつながる空間づくり」
- 開放感があり、ヒューマンスケールを大切に「居心地が良く、人にやさしい空間づくり」
- 新交通としての展開、拡張を考慮し、「新たな公共交通としての明示性」

<新規上屋タイプ>



<サインポール単体タイプ>



※パースはイメージです。今後の検討によりデザインは変更することがあります。